

第 1 平成 15 年度予算編成について

1 経済状況について

我が国の経済状況を見ると、企業収益は改善しているものの、失業率が高水準で推移しており、消費や輸出が横ばいであるなど依然として厳しい状況にある。

また、本地域では中小企業を中心として、倒産件数が高い水準で続くなど厳しさが続く中で、雇用情勢は輸送機械工業の好調さに支えられて他の地域よりも良好ではあるものの、引き続き高い失業率や賃金の低下が続いている。

2 財政状況の見通し

このような厳しい経済環境の中での、県税収入の見通しについては、法人二税は景気の動向を反映し、企業収益の落ち込みから大幅な減収が見込まれるほか、その他の税目でも、個人所得の減少や消費の低迷により減収が見込まれるなど、全体として前年度を大幅に下回る状況にある。また、基金は枯渇し、県債の活用にも制度的な限界があることから、財源対策の余地は、ほとんど残っていない現状にある。

一方、歳出面では、行財政改革の取組は着実に進んでいるものの、公債費を始めとする義務的経費が増加するほか、社会経済情勢の変化への対応や地域の長期的発展に向けた行政需要に係る経費が見込まれることから、本県財政は一層厳しい状況に陥っている。

3 予算編成の基本的考え方

このため、財源の積極的な確保や歳出の抑制に努めながら、事業の重点化や事務事業の見直し、内部管理事務の合理化を進め、真に必要な分野に、限られた財源を可能な限り重点的かつ効率的に配分することを基本とした。

その上で、幅広い分野での県民やNPOとの協働事業の拡大にも努め、以下の二点を重点施策の柱に年間総合予算として編成した。

(1) 「安心」の施策

地震・防災対策や、食の安全・安心対策、環境対策、福祉の充実と子育て対策、教育の新生、更には雇用・中小企業対策の推進など、県民の不安を解消し「安心」につながる施策を重点的に進めていく。

(2) 「元気」の施策

安心を実感できる「元気」な地域づくりに向け、愛・地球博と中部国際空港の二大事業を着実に推進するとともに、これらを生かしたこの地域の更なる魅力と活力の向上につながる施策について、積極的な取組を図る。